

## 本多光太郎・湯川記念合同講演会 開催案内

- (1) テーマ；『将来のクルマを支える材料技術』（その1；構造用部材を中心に）
- (2) 開催日時； 10月1日（月）13:00～18:00 / 意見交換会；18:10～
- (3) 開催場所； 名古屋大学 ES 館 1階 ES ホール / 意見交換会；ITbM 棟（ES 館東隣）  
\* 地下鉄名城線名古屋大学駅下車すぐ，所在地は下記 URL でご確認ください。  
(<http://www.nagoya-u.ac.jp/access-map/index.html>)

### (4) 概要

近年の自動車を取り巻く環境は従来の課題である環境負荷低減、軽量化、燃費改善等に加え、電動化、自動運転、コネクティッド等に代表される革新技術への対応も求められ、より複雑化、高度化するとともに、異業種産業との競争に曝される等 100 年に一度の大変革期を迎えている。

このような状況は国内自動車産業の 8 割が集中する東海地域においてより深刻であることから、自動車産業を支える素形材産業や大学・研究機関会員が主体となる日本金属学会・日本鉄鋼協会東海支部では、『将来のクルマを支える材料技術』を年間テーマに掲げ、産学官の連携構築および他学協会との連携を基に日本のクルマ産業の競争力向上に資するイノベーションに向けた研究開発の在り方を探る。

- (5) プログラム（テーマはいずれも仮称） ※基調講演（40 分），一般講演（30 分）ともに Q/A 含む  
13:00～13:10 開式挨拶 支部長 豊橋技術科学大学 福本昌宏

≪座長；前田千芳利（トヨタ自動車）≫

#### 【基調講演】

- 13:10～13:50 世界的な車の電動化と我が国の戦略“自動車新時代戦略会議 中間整理について”  
経済産業省製造産業局自動車課 綱島 健

#### 【車両軽量化を支える材料と生産技術の現状と課題】

- 13:50～14:20 車両用高強度鋼板と適用技術 新日鐵住金(株) 岡本 力  
14:20～14:50 NEDO 革新的構造材料プロジェクト:高強度 AI 開発 産業技術総合研究所 尾村直紀  
14:50～15:20 複合材料の自動車向け技術開発 東レ(株) 木山公志  
15:20～15:30 休憩

≪座長；長谷川正（名古屋大学）≫

- 15:30～16:00 マルチマテリアル化のための異材接合技術 (FSW) 豊橋技術科学大学 福本昌宏  
16:00～16:30 塑性締結を用いたマルチマテリアル化 名古屋工業大学 北村憲彦

#### 【究極の軽量構造を求めて】

- 16:30～17:00 金属 3D プリント造形体の特異な微視組織と力学特性 名古屋大学 高田尚記

#### 【新素材開発の革新】

- 17:00～17:30 計算組織学の観点から眺めた構造材料研究の最近の進展 名古屋大学 小山敏幸

【フリーディスカッション（閉式挨拶含む）】 ≪進行；福本昌宏（豊橋技術科学大学）≫

17:30～18:00

講演者と参加者で、東海地区・日本の自動車産業を将来にわたり支え続けるために材料技術領域の研究開発はどうあるべきかを、産学官連携の観点よりオープンでフランクな議論を行う。

- (6) 主催：公益社団法人日本金属学会東海支部・一般社団法人日本鉄鋼協会東海支部  
共催：名古屋大学大学院工学研究科  
協賛：軽金属学会，自動車技術会，塑性加工学会，日本鋳造工学会，日本熱処理技術協会，日本溶射学会，粉体粉末冶金協会，溶接学会（以上学協会各支部），公益財団法人本多記念会
- (7) 参加費；無料（但しテキスト代；2,000 円（会員，協賛会員），2,500 円（非会員））  
意見交換会費（任意参加）；2,000 円（会員，協賛会員），2,500 円（非会員）

(8) 定員；150 名

(9) 参加申し込み期限；9 月 14 日（金）

※当日受付も可としますが準備の都合上、期日までのお申し込みを基本とさせていただきます。

(10) 参加申し込み&問い合わせ先；日本金属学会東海支部 事務局 松永憲一

TEL: 080-4547-6041, E-mail: tokai [at] numse.nagoya-u.ac.jp